

# 究極の陰謀：優生学と人口統制——知らぬ間に我々を支配する黒い影

Greatchain  
2019/12/20

私はこの記事（The Ultimate Conspiracy: Eugenics and population control）をアレックス・ジョーンズの Infowars で見た。「インフォウォーズ」は周知のとおり、ほぼ完全に情報統制を強いられている。この記事は公開されたものでなく、偶然、あるカラクリによって手に入ったものである。陰謀団から見れば、絶対に公表してはならないものはずだが、このような記事がこのほかに、いくつか入っている。私の前の記事でも、ID の記事に気づいて、医療と「優生学」について、その恐ろしさを強く警告したところなので、これに気づいたのは偶然でないような気がしている。

---

Hesh Goldestein  
May 18, 2012

1969年5月20日、ロックフェラーの援助による「計画出産計画」の国家医師主任、ドクターRichard Day と、ニューヨークの Mount Sinai 病院の小児科教授が、ピッツバーグ小児科協会で、学生や医療専門職のグループに向って話をした。

デイ医師は、世界の人工を減らす、組織化された医療科内部の「秘密アジェンダ」のことを知っていたが、彼が今、自由に話そうとしているのは、固くガードされた「緊密な陰謀」が今は、「公然たる陰謀」になっており、「…すべてが揃っていて、誰も我々を止めることができなくなってきたからだ」と話した。

憶えておくべきことは、ロックフェラー財団のほかに、ビル・ゲイツ、バラク・オバマ、それにおそらく、モンサントがいることである。

デイ博士の討論の内容は次のようなものだった：——

「人口統制(削減);新生児をもつ許可;セックスの目的の再指導——繁殖なしのセックス、セックスなしの繁殖;世界中誰でも利用できる避妊;性教育と、世界政府の道具として若者の交流;人口統制としての中絶の奨励;ホモセクシュアリティの奨励;セックスなしに

繁殖させるテクノロジー；家族の重要性を否定させる政策；安楽死と、廃老人を死なせるピル（demise pill）；手ごろな医療費の制限は、老人の排除を容易くさせる；医学の知識の厳しい統制；私的医師の削減；診断困難の病と治療困難者の新しい設置；人口統制の手段としてのガン治療の制限；暗殺の一形態としての熱による攻撃方法；思春期と進化を促進する道具としての教育；すべての世界を一つに混合し、古い諸宗教を一掃すること；キーワードを修正してバイブルを書き換えること；洗脳の道具としての教育再編成；学校にはもっと時間を取るが、生徒は「どんなことでも学ぶ」；誰が情報にアクセスするかをコントロールする；共同体のハブとしての学校；図書館から本を消失させる；道徳的・社会的な混乱を促進するための法の改正；都市や町にジャングルの雰囲気を作り出すために、ドラッグの乱用を奨励する；アルコールの乱用を奨励；旅行を制限する；もっと多くの刑務所と、刑務所を病院に使うことが必要になる；心理的、また物理的安全保障の必要はもはやない；社会を運営するのに歌が必要だ；アメリカの産業的優位性は縮小せる；人口と経済の浮動政策——社会的ルーツを切り捨てること；社会的な技能と変化の道具としてのスポーツ；娯楽を通じて、セックスと暴力を教え込む；旅行の制限と ID カードの植え付け；人々がどう反応するか、あなたがやりたいことを、やらせてみよ；偽りの科学研究は正しい；テロリズムを用いよ；監督者はが偽造し、テレビが監督する；家庭には、過去の遺物をあてがっておけ；全体主義的グローバル・システムが到来する。」

あなたが政府に——食料の選択や、その他多くの問題に、何が残っているかを見れば、デイ博士の話題はゆっくりと、しかし確実に、人を取り込んでいくだろう。

これが意味するのは何か？ それは、我々はもはや、ただ満足し何かを期待して「時の権力者」を待っていることは、できないということだ。

我々は声をあげ、強くなり、主張しなければならない。それが嫌なら、我々は人形になって、紐の上で操られ、我々を消したい者たちに、ニセ物の楽しみを「享受」させること以外にない。

今後の記事では、その点をもっとはっきりさせようと思う。

---

### **(Greatchain)**

歴然と存在する、こういう悪意をもつ者たちのことを、陰謀団(Cabal)、New World Order、One World Government、グローバル・エリート、イルミナティ、などいろんな名前で見ている。私の妻のように、「そんな悪い者がいるはずがないでしょう、どんな目的でそんな悪い者が存在するの？」と言う人々も数え切れぬほどいるだろう。しかし、驚くべく大きな勢力をもって、この者たちは存在する。何のためにでもなく、悪そのもののために存在

する。私はこれを「純粹悪」と昔から呼んでいる。これは神とサタン(悪魔)という観点からしか、理解することができないものである。我々は、この最後の数行で言っているように、戦わなければならない。目覚めなければならない。また彼らはきわめて巧妙であるために、騙されないようにしなければならない。彼らが我々を狙うのは、ごく簡単であることを忘れてはならない。我々の人の好きは、ここではきわめて危険である——特にメディア報道が問題だ。この者たちは基本的に、ここに細かく説明されている者たちの仲間である。間違いなく彼らは、我々を滅ぼす者たちである。「ローマクラブ」Club of Rome と呼ばれる立派に聞こえる団体が、何であるかも知っておくべきであろう。

何か参考文献がないかという人には、私は「イルミナティ理解のために」をお勧めする。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160213.pdf>